

「学校図書館における 電子書籍利用の可能性を探る」

協力校からの期待

工学院大学附属中学校・高等学校 司書教諭（国語科） 有山 裕美子

学校図書館における電子書籍活用のあり方について

- ① 本校の概要
- ② 本校における電子書籍実証実験についての概要
 - a. 実証実験概要
 - b. 実証実験に関わる本校における取り組みについて
- ③ 学校図書館における電子書籍活用のあり方
 - a. 実践を検討する上での前提
 - b. 個人利用における電子書籍活用のあり方
 - c. 授業利用における電子書籍活用のあり方
 - d. 実証実験協力校からの期待

① 本校の概要



工学院大学附属中学校・高等学校
中高併設型の共学私立校

八王子市／生徒数約1200人

学校図書館基本データ

蔵書は、約33,000冊。

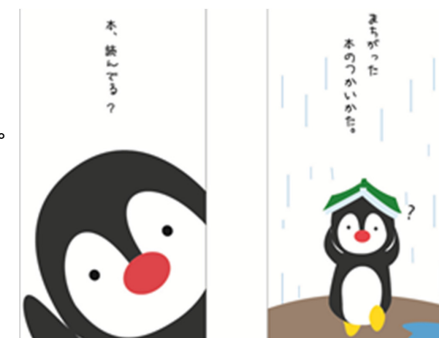
新聞は6種類。

雑誌は約100タイトル。

現在購入中は、50タイトル。
部活の雑誌を中心に購入。

1階…各分野の本。
レファレンス資料

2階…雑誌・新聞／新書
物語の本など



学校図書館基本データ

開館時間

平日 9:00～18:00
土曜日・午前授業
9:00～16:30

<放課後>

自習室としての利用
グループ学習等での活用



学校図書館基本データ

貸出冊数 …… 10冊
貸出期間 …… 2週間

夏休みなどの長期のお休み
は貸出冊数や期間が異なる。

図書委員会がカウンター業
務を行う



館内環境 PCおよびネット環境

OPAC 2台

貸出用iPad 50台

貸出用PC 50台

館内利用MAC 5台

校内無線LAN



総合的な学習の時間を使った「デザイン思考」

中学生全クラス
※全員が個人タブレットを所持

図書館で授業を行う

ICT + 思考力 + 図書館



総合的な学習の時間を使った「デザイン思考」

本の帯を作ろう



電子書籍の仕組みを知り、自らも発信者になる

電子書籍の作り方を学びました。

<http://kogakuin-jsh.blog.jp/archives/16455574.html>



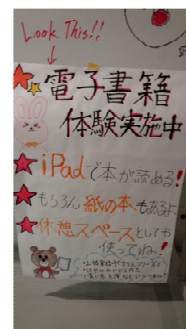
② 本校における電子書籍実証実験についての概要

a. 実証実験概要

実施期間	2016年10月3日～12月22日
実施対象	全学年・全教職員
実施内容	クラウド型及びスタンドアロン型
実施方法	全員にIDとPWを配布（どこでも利用可能） スタンドアロン型は図書館にて貸出（持ち帰り可能） 中3と高校生は担任より使い方を簡単に説明 中1・中2はデザイン思考授業内にて説明、体験
配付資料等	保護者向け案内資料 使い方案内資料（2枚） 利用可能電子書籍リスト（各クラス1部）

b. 実証実験に関わる本校における取り組みについて

科学教室にて一般の方を対象に調査を行う。本校図書委員も参加。



クラウド型及びスタンドアロン型を体験/実証実験に向けての準備



10月3日～ 実証実験開始

保護者むけ案内資料
生徒向け利用案内 配布

2016年10月3日
工学院大学附属中学校・高等学校
校長 平野 利行

学校図書館における電子書籍利用に関する実証実験について
お礼の状、ご報告の書類にほめます。ご報告のことがお喜び申し上げます。早速お返事申し上げます。
さて、このたび本校では、「学校図書館における電子書籍利用環境構築のための合同プロジェクト（以下、「合同プロジェクト」という）」が行う学校図書館における電子書籍利用に関する実証実験に参加することとなりましたので、ご説明いたします。
実証実験の趣意は以下の通りとなりますので、ご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

【実施団体】 「学校図書館における電子書籍利用環境構築のための合同プロジェクト」
制作・流通の立場から電子書籍の普及に取り組み電子出版制作・流通協議会と学校図書館や電子書籍の学術研究を行っている専修大学電子書籍研究プロジェクトの合同プロジェクト

【実証実験の目的】
学校へのデジタル教科書導入や通信インフラの整備が予定されており、今後、学校に電子書籍が導入される可能性があります。そこで、実際に学校図書館に電子書籍システム（バイコック）をお子様に提供したい旨は、どのようなシステムであれば安心して利用し、受け入れるかを検討したいと思えます。

【実施期間】 平成28年10月3日～平成28年11月22日

【実施内容】
電子書籍をインストールした電子書籍専用端末、もしくは汎用端末（タブレット・PC等）でアクセス可能な電子書籍システムをお子様に学校図書館内で実際に使ってもらいたい上で、操作性や読みやすさ、作品などに対する要望について無署名のアンケート調査にご協力いただけます。なお、この調査より得られたデータは、合同プロジェクトが調査研究の目的（学術発表や論文を含む）以外には使用いたしません。

以上

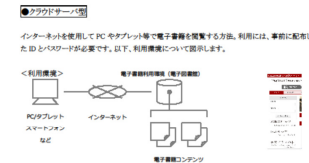
クラウド型

全校生徒・全教職員へ
ID・PW 発行



生徒各位
電子書籍利用方法について
2016年10月3日
工学院大学附属中学校・高等学校 図書館 吉山 裕美子

別紙案内の通り、電子書籍利用の実証実験に参加します。協力をお願いします。
なお、電子書籍には登録があります。



- 【利用方法】
- 以下の手順にアクセスする。
「学校図書館電子書籍利用環境構築プロジェクト」
<http://www.s-libary.ac.jp/honto/>
 - 配布された個人ID、およびPWでログインする。
 - ログイン後、自分が読みたい本を選び、その書籍の下にある「借りる」を押す。
 - 別タブで電子書籍が開く（ブラウザ内ビュー）。「本を開いて読む…」というメッセージが表示され、最終的に電子書籍が閲覧できればOK。
 - 電子書籍を閉じる（閲覧をやめる）ときは、そのままだが閉じる。

【電子書籍を利用してみましょう！】
工学院大学附属中学校・高等学校 図書館

先日お知らせした電子書籍は利用していますか。まずは、サイトにアクセスして、ログインしてください。11月22日まで、約800タイトルを無料で読むことが出来ます。
「学校図書館電子書籍利用環境構築プロジェクト」<http://www.s-libary.ac.jp/honto/>

ご利用ガイド

<ログインする>
実験用のホームページにアクセスして、配布されているIDとパスワードを入力し、ログインします。



<本を探す>
①本や作者の名前、シリーズ名、出版社名から本を探す。
「検索」を押すの入力欄に名前やシリーズ名を入れて「検索」ボタンを押してください。



授業にて使い方を体験

中1・中2 デザイン思考

図書館にて
スタンドアロン型の貸出

案内ポスターの掲示

利用可能タイトルリスト

プリントで使い方説明

など



③ 電子書籍活用のあり方

a. 学校図書館において実践を検討する上での前提

・活用の場・方法

「個人での利用」か「授業での利用」

「校内のみ」か「自宅等でも利用可能」／どの端末を利用するか

・利用する理由

読み物を中心とした読書

興味・関心に基づいた読書・調べ学習

授業等における調べ学習

など

b. 個人利用における電子書籍活用のあり方

・利用可能な場所が校内のみ

時間や端末が限定され、継続的な読書には繋がりにくい。

・場所や端末を選ばず利用可能

手軽に読めるので、利用が広がる可能性がある。

継続的な利用には、コンテンツの充実が不可欠。

紙の本を読む生徒は、電子書籍も読む。

本を読まない生徒に、いかに電子書籍というツールを使って読書させるか。

タブレット等の操作に慣れているので、電子書籍の利用に抵抗感は少ない。

b. 個人利用における電子書籍活用のあり方

・学校図書館としての働きかけ

校内のみの場合は、声かけ、利用状況などの確認が可能

場所を選ばず利用可能 ➡ 来館せず終わってしまう可能性

電子図書館内での特集や出版社ごとのコーナーの作成

新着図書の紹介や貸出ランキングの提示

など

児童生徒が読書に興味を持つような仕掛け作り。

読書に興味を持たせる仕掛けは、紙も電子も同じ

読みたくなるコンテンツと、手に取りたくなる仕掛け



③ 電子書籍活用のあり方

c. 授業利用における電子書籍活用のあり方

・読書案内／文学作品読解など

紙の本と同様に読書案内に活用

教科書では一部しか読めなかった作品を通読する。

読書会やビブリオバトル等に活用。

など

・情報収集／調べ学習

授業内の課題等に対する情報収集や調べ学習に活用。

学校におけるICT活用が進む中で、電子資料の活用は必須

④ 実証実験校からの期待

電子書籍活用の可能性 その1

日常的に読書をしない生徒たちを、
「電子書籍」というツールによって読書に導くことができないか。



手軽にいつでも利用できる。
何冊でも持ち運べる。
スマートフォン等で利用できる

④ 実証実験校からの期待

電子書籍活用の可能性 その2

紙の本よりも電子書籍の方が読みやすいと感じる
児童生徒が一定数いること。



「電子書籍」活用により、読書への抵抗がなくなるのではないか。
紙という媒体によって読書から排除されていた児童生徒にとって
読書へと繋がる新しい有効な手段となり得るのではないか。

④ 実証実験校からの期待

電子書籍活用の可能性 その3

一定の条件をクリアすることにより授業の幅が広がる。



そもそも学校教育において、いまやICT活用は必須。
電子教科書の時代。

④ 実証実験校からの期待

電子書籍活用の可能性 その3

電子書籍授業活用例（たとえばこんな事が可能になれば……）

- ・ 作品をスクリーンで拡大表示してクラス内で共有する。
- ・ マルチアクセスを可能にすることで、群読や読書会を行う。
教科書では紙面の都合で扱えなかった作品の部分を教材として活用。
- ・ 重要箇所にはラインを引くなど、ノート代わりに活用。
- ・ 分からない漢字は、辞書に飛べる。
- ・ お互いの感想を書き込んで共有できる。

④ 実証実験校からの期待

電子書籍活用の可能性 その3

電子書籍授業活用例（さらに……）

- ・ 調べ学習や課題論文に活用できるコンテンツを用意。
➡ 百科事典や新聞記事データベースと併用して活用。
- ・ 複数の資料を場所をとらずに閲覧が可能。
➡ 時間やスペースの有効活用

④ 実証実験校からの期待

電子書籍活用の可能性 その4

図書委員会を中心とした校内イベントに活用



④ 実証実験校からの期待

電子書籍活用の可能性 その5

宿題としての活用

(例)

- ・新書を1冊読んできてレポートを書く。
- ・読書感想文等の課題図書として活用。

(購入したり、図書館等で借りる必要がない。)

実証実験協力校からの期待（まとめ）

1. 「**電子書籍**」をきっかけに読書する児童生徒を増やす。
2. 学校教育における **ICT活用** に繋げる。



ICTを活用する有効なツールとしての「電子書籍」
電子書籍だからできることを明確にし、様々な可能性を考える。

学校図書館に電子書籍を導入する意義